

今月の  
トピックス

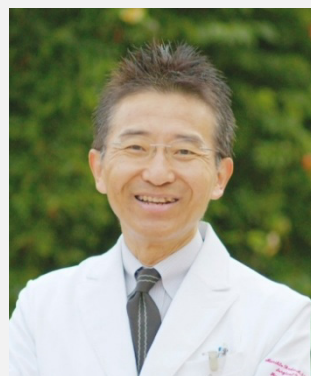
## JCOG2501 肺がん外科グループ 新規試験

肺がんは日本におけるがん死亡原因の上位を占める疾患で、近年は画像診断技術の進歩により、小型肺がんの発見頻度が増加しています。これらの早期肺がんに対して、根治性を維持しつつ、患者さんにとって最も有益な手術方法を確立することは、肺がん外科治療における重要な課題です。

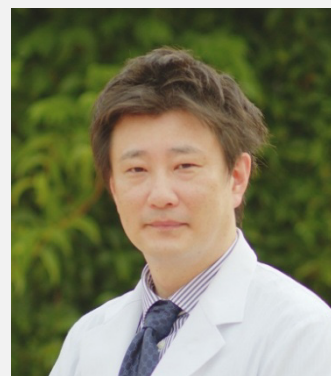
このような背景のもと、JCOG肺がん外科グループの新たな臨床試験であるJCOG2501「肺野中枢小型充実成分優位非小細胞肺癌に対する肺葉切除と区域切除のランダム化比較試験」が現在開始準備中です。

本試験の立案・作成・承認に際し、JCOG肺がん外科グループの先生方をはじめ、データセンター、運営事務局、各審査委員会の皆様より多大なるご指導とご協力を賜りました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

2022年 the Lancet に掲載された JCOG0802/WJOG4607Lにて、肺野末梢小型(2cm以下、充実成分優位)非小細胞肺癌に対し、従来の標準治療であった肺葉切除と比較して、区域切除(肺葉切除より切除量が小さい切除)の全生存期間における優越性が世界で初めて示されました。この結果により、区域切除は新たな標準治療として位置づけられました。肺という生命維持に不可欠な臓器では、切除量が術後の身体への負担に大きく影響します。肺実質を温存することで術後の死亡リスクが低下することが示された点は、肺がん外科治療における大きな転換点であったといえます。



研究代表者  
岡田 守人



研究事務局  
坪川 典史

本試験では、肺野中枢小型非小細胞肺癌を対象に、全生存期間を主要評価項目として、標準治療である肺葉切除に対する区域切除の非劣性を前向きに検証します。

本試験が完遂されれば、腫瘍径2cm以下の小型肺がんにおいて、技術的に区域切除が可能と判断される場合は、病変の中枢・末梢を問わず区域切除が選択肢となり、より多くの患者さんが肺実質温存の恩恵を受けることが可能となります。これにより、術後の生活の質の向上に加え、将来生じうる疾患に対する治療選択肢を広げることに繋がります。

本試験の完遂と成功には、皆様のご協力が不可欠です。JCOG2501試験へのご理解とご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

JCOG2501研究代表者 広島大学 腫瘍外科 岡田 守人  
JCOG2501研究事務局 広島大学 腫瘍外科 坪川 典史

胸部薄切CTで非小細胞肺癌またはその疑い  
腫瘍中心が肺野中枢  
病変全体径2 cm以下かつ充実成分優位(0.5<C/T比≤1)

登録・術中ランダム割付  
施設、年齢、性別、pure solid vs. part solid、組織型

A群: 肺葉切除

B群: 区域切除

### 【開催】第12回 JCOG患者市民セミナー 2026年2月21日(土) 13:00~

#### プログラム

##### 第一部(講義)

13:00~13:10	開会の挨拶	
13:10~13:25	講義1: PPI(患者市民参画)とは?	丸山 大 先生
13:30~13:50	講義2: JCOG1208(中咽頭がん)	中村 聡明 先生
14:00~14:20	講義3: 臨床試験の実施について	福田 治彦 先生
14:30~14:50	講義4: 医療経済委員会の活動紹介	佐々木啓太先生
14:50~15:10	講義5: JCOG1019(膀胱がん)	北村 寛 先生
15:10~15:20	第一部のまとめ	

##### 第二部(希望者のみ)

15:20~15:40	小グループに分かれて語り合い
15:40~16:00	全体のまとめ 閉会



### JCOG研究の論文公表

◇ 泌尿器科腫瘍グループ JCOG1019 北村 寛 先生  
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41571573/>

Active Surveillance Versus Intravesical Bacillus Calmette-Guérin for High-grade T1 Bladder Cancer with Negative Second Transurethral Resection: The Randomized Noninferiority Phase 3 JCOG1019 Trial, European Urology, 2026 Jan 21. Online ahead of print.

◇ 大腸がんグループ JCOG0603 金光 幸秀 先生  
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41564372/>

Randomized Phase II/III Trial Comparing Hepatectomy, Followed by mFOLFOX6 With Hepatectomy Alone for Liver Metastasis From Colorectal Cancer: Long-Term Results of JCOG0603, Journal of Clinical Oncology, 2026 Jan 21. Online ahead of print.

## JCOG研究の論文公表



### ◇ 乳がん/放射線治療グループ JCOG2110デザインペーパー 佐々木 啓太先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41615067/>

A randomized controlled trial of metastasis-directed therapy for oligometastasis in breast cancer: OLIGAMI trial (JCOG2110), Japanese Journal of Clinical Oncology, 2026 Jan 30. Online ahead of print.

### ◇ 肝胆膵グループ JCOG1202S2 柳本 泰明 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41588936/>

Original Study: Risk Factors for Early Recurrence in Patients With Biliary Tract Cancers Who Underwent Curative Resection: An Exploratory Subgroup Analysis of JCOG1202, Journal of Surgical Oncology, 2026 Jan 26. Online ahead of print.

### ◇ 乳がんグループ JCOG1806S3 重松 英朗 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41572060/>

Clinical complete response and predictive factors in HER2-positive early breast cancer treated with neoadjuvant chemotherapy aimed at omission of surgery: an exploratory analysis of the JCOG1806 trial, International Journal of Clinical Oncology, 2026 Jan 22. Online ahead of print.

### ◇ 消化器内視鏡/胃がんグループ

JCOG1009/1010S3 三井 智広 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41514129/>

Factors associated with technical difficulty in endoscopic submucosal dissection for undifferentiated early gastric cancer: post hoc analysis of JCOG1009/1010, Surgical endoscopy, 2026 Jan 9. Online ahead of print.

### ◇ 食道がんグループ JCOG1109S6 喜多 亮介 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41535566/>

Optimal Timing of Surgery Following Neoadjuvant Therapy for Surgical and Oncological Outcomes in Advanced Esophageal Squamous Cell Carcinoma: An Exploratory Analysis of JCOG1109, Annals of Surgical Oncology, 2026 Jan 14. Online ahead of print.



## 担当医別月間登録数

- ◇ 肺がん外科グループ(月間登録数:4)  
今野 隼人先生/静岡県立静岡がんセンター
- ◇ 胃がんグループ(月間登録数:4)  
柄田 智也先生/富山県立中央病院
- ◇ 食道がんグループ(月間登録数:2)  
那須 元美先生/順天堂大学医学部附属順天堂医院
- ◇ リンパ腫グループ(月間登録数:3)  
口分田 貴裕先生/近畿大学病院
- ◇ 大腸がんグループ(月間登録数:2)  
金光 幸秀先生/国立がん研究センター中央病院  
安井 昌義先生/関西労災病院  
池田 聡先生/県立広島病院
- ◇ 肝胆膵グループ(月間登録数:2)  
戸田 健夫先生/静岡県立総合病院  
青木 修一先生/大阪国際がんセンター

(担当医別最多登録数が1例のグループは割愛しています)

## グループごと月間登録数



登録数月次レポート

<https://secure.jcog.jp/DC/DOC/member/report/index.html>

グループ	11月	12月	1月	合計
肺がん外科	68	67	52	187
大腸がん	28	18	32	78
胃がん	20	21	33	74
リンパ腫	26	25	18	69
食道がん	17	24	11	52
肝胆膵	17	8	19	44
消化器内視鏡	7	16	8	31
乳がん	11	8	7	26
放射線治療	5	14	4	23
肺がん内科	9	9	4	22
泌尿器科腫瘍	6	3	4	13
脳腫瘍	5	4	3	12
骨軟部腫瘍	1	4	2	7
皮膚腫瘍	2	2	0	4
頭頸部がん	0	0	0	0
婦人科腫瘍	0	0	0	0
合計	222	223	197	642

**JCOG**  
Japan Clinical Oncology Group

JCOGデータセンターより

● 2026年1月の登録は197例でした

